

R2年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

| | | | | |
|-----------|-----------------------------------|-------|------------------|-----------------|
| 施設名称 | 生駒市高山竹林園 | | | |
| 所在地 | 生駒市高山町3440番地 | | | |
| 指定管理者名 | 奈良県高山茶筍生産協同組合 | 指定期間 | 開始日 | 平成 29 年 7 月 1 日 |
| 利用料金制適用区分 | 利用料金制 | | 終了日 | 令和 4 年 3 月 31 日 |
| 選定方法 | 非公募 | 評価実施年 | 指定期間 5 年のうち 4 年目 | |
| 設置目的 | 本市の地場産業である竹製品の振興及び市民の文化と教養の向上に資する | | | |
| 主な実施事業等 | 高山竹あかりの開催等 地場産業である竹製品の振興事業 | | | |

2 利用実績

| 利用区分等 | 単位 | 予定(計画・目標) | 利用実績 | 対前年度比 | 増減の理由等 |
|-------|----|-----------|---------|-------|----------------------|
| 研修室 | 円 | 30,000 | 5,240 | 67.5 | 新型コロナウイルス感染防止対策に伴う減少 |
| 和室 | 円 | 240,000 | 128,880 | 68.5 | 新型コロナウイルス感染防止対策に伴う減少 |
| 竹生庵 | 円 | 30,000 | 16,760 | 44.2 | 新型コロナウイルス感染防止対策に伴う減少 |
| | | | | | |
| | | | | | |

3 事業収支

| | 事業計画 | 事業報告(実績) | (参考)前年度実績 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入計 A | 37,890,000 | 37,341,831 | 37,448,987 |
| 指定管理料 | 34,804,000 | 34,804,000 | 34,513,000 |
| 利用料金収入 C | 300,000 | 154,020 | 233,940 |
| 自主事業収入 | 2,380,000 | 2,054,467 | 2,436,866 |
| その他 | 406,000 | 329,344 | 265,181 |
| 支出計 B | 37,890,000 | 34,265,071 | 36,246,820 |
| 指定事業費 | 35,510,000 | 33,032,420 | 34,909,280 |
| うち人件費 D | 16,500,000 | 14,909,153 | 16,589,599 |
| うち再委託料 E | 3,896,000 | 4,047,629 | 4,006,121 |
| 自主事業費 | 2,380,000 | 1,232,651 | 1,337,540 |
| 事業収支 A-B | 0 | 3,076,760 | 1,202,167 |
| 利用料金比率 C/A | 0.007917656 | 0.004124597 | 0.006246898 |
| 人件費比率 D/B | 0.435471101 | 0.435112275 | 0.45768426 |
| 再委託費比率 E/B | 0.102823964 | 0.11812697 | 0.110523378 |
| 補足説明(必要に応じて記入) | | | |

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

| | | | |
|----------------|--------|------|--------------------------|
| 利用者の意見把握の実施の有無 | 有 | 実施方法 | (利用者アンケート・意見箱の設置・その他()) |
| 実施結果 | 意見内容等 | | 対応実績等 |
| | 別紙のとおり | | 別紙のとおり |

5 管理運営状況評価

| | |
|--|---|
| 施設の設置目的の達成（有効性） | |
| 施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等） | |
| 指定管理者による自己評価 | 竹林園をより多くの方々に知って頂き、気軽に来場いただけるように、PR等に努め、茶釜、茶道具、編針などの地場産業の振興を図るため積極的な運営管理を実施した。 |
| 市の評価 | 市との連携によるPRを行い、施設の設置目的に合致した事業を行った。 |
| 市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等） | |
| 指定管理者による自己評価 | 高山竹林園条例及び同施行規則に基づき、利用者に対し平等で公平な運営・管理を行った。 |
| 市の評価 | 利用者に対し、公平な管理がなされた。 |
| 利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等） | |
| 指定管理者による自己評価 | 多くの利用者の方々から、「以前に比べ竹林の整備が行き届いていますね」とか「職員の接客が良くなりましたね」と言ったお褒めの言葉をいただき、大変良い評価をいただいております。 |
| 市の評価 | 日頃より、こまめに竹林や広場の手入れを行っている。お客様が希望されることで、実施可能なことはより柔軟に対応し、満足度を更に高めていただきたいと考える。 |
| 経費の縮減等の効果（効率性） | |
| 経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等） | |
| 指定管理者による自己評価 | 不要不急の物品購入を避けるとともに、軽度の修理等は職員が材料等を手配し直営で修理することで経費を節減し、老朽化施設の工事や修理についてもその必要性をよくよく検討し、適切な施設の維持管理に努めた。 |
| 市の評価 | 令和2年度は、軽トラックや感染症対策として空気除菌機器及び非接触式検知器の購入等を市で行っており、利用者の利便性と安全性向上のため一定の経費を要している。 |
| 収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等） | |
| 指定管理者による自己評価 | これまで以上に親切・丁寧な接客を行い、リピーターや新規利用者の増加に努め、新型コロナウイルスの影響を回避すべく「いこまめぐり券」や地域共通クーポン等の取扱い店舗登録を実施したが減収は避けられなかった。 |
| 市の評価 | コロナ禍においても丁寧な対応で安定したリピーターを獲得していただいている。収入の増加に繋がる自主事業についても検討されたい。 |
| 適正な施設の管理運営（適正性） | |
| 施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等） | |
| 指定管理者による自己評価 | 利用者へのサービスの質の向上と、従業員の資質の向上のため、職員間で情報を共有し、施設の効率的な管理運営に繋がった。 |
| 市の評価 | 実行委員会を組織して高山竹あかりを実施する等、高山茶釜生産協同組合以外の地場産業組合や近隣大学等とも連携体制を構築している。 |
| 自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等） | |
| 指定管理者による自己評価 | 抹茶ベースのソフトに高山あらでトッピングをした「高山ソフト」の販売や、自分で点てて自分で飲む「お抹茶体験」を毎日実施するとともに、茶釜等の販売と、新しくお抹茶缶の販売も実施し、利用者へのサービスの向上に努めた。 |
| 市の評価 | 高山ソフトの販売とお抹茶体験を継続。HPによるイベント案内も行った。サービス向上に繋がる新たな自主事業についても実施を検討されたい。 |
| 安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等） | |
| 指定管理者による自己評価 | 個人情報の保護、各種点検の実施、消防訓練の実施等、常に危機管理を念頭に職務を行うことにより、年間を通じて事故無く施設を運営することができた。 |
| 市の評価 | 適切な管理により事故に繋がる事例もなかった。専門業者による定期点検についても漏れなく実施されたい。 |

| | |
|--------------------------------------|--|
| サービスの安定的な提供（安定性） | |
| 事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等） | |
| 指定管理者による自己評価 | |
| | 積極的・効率的な施設運営と事業実施により、約3,076千円の経常利益を計上することができた。 |
| 市の評価 | |
| | コロナ禍においても黒字で推移されているが、利用料・自主事業他の収入計2,537千円（前年比86%）、指定管理料を含めた全収入に占める割合は6.8%に留まっており、イベント中止等の影響が見られる。引き続き比率向上の為の取組が必要。 |

6 指定管理者の財務の状況

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|------|------------|------------|------------|
| 資産 | 4,032,908 | 4,622,322 | 4,599,147 |
| 流動資産 | 4,032,908 | 4,622,322 | 4,599,147 |
| 固定資産 | 0 | 0 | 0 |
| 負債 | 2,123,570 | 1,954,982 | 516,968 |
| 流動負債 | 2,123,570 | 1,954,982 | 516,968 |
| 固定負債 | 0 | 0 | 0 |
| 純資産 | 1,909,338 | 2,667,340 | 4,082,179 |
| 資本金 | 210,000 | 210,000 | 210,000 |
| 売上高 | 43,109,551 | 41,591,994 | 40,038,832 |
| 経常利益 | 1,604,954 | 848,002 | 1,464,839 |

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------------------------------|---------|--------|--------|
| 自己資本比率 純資産/資産×100 | 47.3% | 57.7% | 88.8% |
| 負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100 | 111.2% | 73.3% | 12.7% |
| 固定比率 固定資産/純資産×100 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 流動比率 流動資産/流動負債×100 | 189.9% | 236.4% | 889.6% |
| 固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 総資産回転率 売上高/資産×100 | 1068.9% | 899.8% | 870.6% |
| 総資産経常利益率 経常利益/資産×100 | 39.8% | 18.3% | 31.9% |

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

| |
|---|
| 指定管理者による自己評価 |
| 高山竹林園利用者アンケートでは、施設利用後の満足度でほぼ全ての方に「満足」「ほぼ満足」とお答えいただくとともに、「また、竹林園を利用したいですか」の設問で、ほぼ全ての方に「利用したい」とお答えいただいています。これは、これまで以上に笑顔や挨拶、丁寧な説明等に努めたことにより、スタッフの接客対応に非常に高い評価をいただくとともに、指定管理者に移行後に実施した、茶室師の伝統と匠の技が身近で感じられる「茶室の制作実演」の毎週日曜日の実施や、自らでお抹茶を点てて飲んでいただく「お抹茶体験」を毎日実施したことなど、お客様目線の事業展開や竹林の整備等が高く評価されたものと考えています。今後更に効率的な施設運営と事業実施に努めるとともに、自主事業の更なる充実に努めたいと考えています。 |
| 市の評価 |
| 市としては、伝統工芸および地場産業の振興はもちろん、国内外観光客誘客のための最も重要な拠点の一つと捉え、様々な改修工事等を行っている。指定管理者には、引き続き丁寧な接客による市民サービスの向上と、利用者数及び収益の増加に繋がる企画の積極的な展開を期待すると共に、市の実施する観光客誘客の為の新たな事業についても協力をいただきたいと考える。 |